

## 10. グリーンランド

北極海と北大西洋との間  
(59°50'N~83°37'N)にある世界最大の島です。

大部分が北極圏に属し、全島の約80%強が氷床と万年雪で覆われており居住区はフィヨルドの奥の一部に限られ、生業は漁業が大半で、一部鉱業資源の開発です。



氷床の厚さは一部 3000m以

上もあるという島全体が氷山のような様子です。発見は8世紀頃には北欧のヴァイキングが上陸した記録があります。現在のノルウェー、スウェーデン、デンマークといったスカンディナヴィア半島周辺に住んでいたのは、ゲルマン民族の一派であるノルマン人(北の人の意)です。この民族が動きだし東航路はバルト海をロシア方面へ、西航路がイギリス方面へ移動し始めたのです。もう一つ北航路があり、これは大西洋に乗りだしアイスランド島を発見し、ここを根拠地にして更に進んでグリーンランドを発見しています。しかしあまりの寒さと不毛の地故に放置され、200年近く経ってから再度の探検でアイスランド島とグリーンランドを確認したのは、ノルウェー生まれのヴァイキングの「赤毛のエイリーク」です。入植可能と判断して国に戻り入植の仲間を募集する際、素晴らしい島だと宣伝するため「緑の島」グリーンランドだと吹聴したのが命名の由来だとされています。

またもう一つの話はエイリークの長男でレイフ、エリクソンがアメリカの北部に到達しており、なんとコロンブスがアメリカ大陸新発見(1492)したという歴史的事実の約500年も前のことです。その大陸に先住民が住んでいるにもかかわらず新発見だ、所有権は国王にあるという発想は白人の思い上がりもはなはだしいことです。

現在この島はデンマーク領になっていますが、自治政府があり議会もあります。しかし全島の総人口は僅か6万人弱で、住民の大半はカラーリット族と呼ばれる種族でアメリカインディアンやエスキモーの人たちと先祖は繋がっていると思われます。その他はカラーリットと白人の混血、デンマーク人で、自治政府や経済はデンマーク人が中心です。我が国とも交易がありエビを大量に買い付けていますが、遠すぎるのがネックになっています。通貨はデンマーククローネで、やがてEUに加盟することでしょう。

最近この島がにわかに注目が集まっています。それは全くの不毛の氷の島とされていたのが氷床の下に豊かな鉱物資源が埋蔵されており、さらに中東地域の大油田に匹敵するくら

いの油田があることが確認されたのです。ただ難点は何千米に及ぶ氷床でしたが、近年の温暖化で氷床が溶けだし開発が可能になりだしたことです。しかしこれで開発が進むと、氷床が溶けるのも加速され、そうすると地球温暖化も更に加速し、海水の水位は確実に上昇し珊瑚礁でできた南の島々は水没の危機に陥ります。自然との共存は難しいのです。

この島で超有名人の日本人がいます。島の南部に‘ヌナタック峰’という山(2540m)がありますが、デンマーク政府により‘ヌナタック・ウエムラ峰’と改名されました。それは登山家・冒険家であった植村直己氏の業績を讃えてのことです。

我が国でも‘国民栄誉賞’を授与された国民的英雄を紹介しましょう。